



大阪南ライオンズクラブ会報

2007年10月号

会長テーマ 「 拡げよう誠の奉仕 挑もう会員増強の和 」



大和川クリーンアップ大作戦 9月22日



例会報告 第 1190 回 9月4日 12:15 ~ 14:00 於：天王寺東映ホテル

地区ガバナー公式訪問・7クラブ合同例会

大阪南ライオンズクラブ
大阪関西ライオンズクラブ
大阪東住吉ライオンズクラブ
大阪帝陵ライオンズクラブ(ホスト)

大阪平野ライオンズクラブ
大阪さくらライオンズクラブ
大阪なみはやライオンズクラブ



地区ガバナー L辻 吉治
スローガン

「 変化と協調
奉仕と誇り
運営と自身 」

地区ガバナー方針(詳細別紙) ↑



献血奉仕活動 9月26日 難波グリーンガーデン



参加者

福島会長 菊地幹事 川畑献血委員長 L丸山 L那須 L高橋 L花田 L渡邊 L高田 L進藤



例会後行事

9月4日(火)	第3回 理事会	於：天王寺東映ホテル
9月12日(水)	親睦食事会	於：八瀬大原
9月18日(火)	CN50 記念ゴルフ大会打合せ	於：アメリカン
9月26日(水)	献血奉仕	於：難波駅前グリーンガーデン

対外レポート

9月3日(月)	各クラブ献血担当委員長研修会 L 花田文蔵 出席	於：ホテル日航大阪
9月15日(土)	大阪・サワシス姉妹都市協会主催第41回英語スピーチコンテスト 於：大阪国際交流センター L 菊地正紀 出席	
9月20日(木)	重松良次国際理事就任祝賀会 L 児島信二 出席	於：帝国ホテル大阪
9月23日(土)	大和川クリーンアップキャンペーン L 藤田和也 L 福島大治郎 L 菊地正紀 L 北野浅太郎 L 高橋純一 L 安永京子 出席	於：阪神高速湾岸線大和川右岸

9月お誕生おめでとう御座います

L 大 照喜 L 播島 聰 L 桑原昌道 L 蔡寺香織 L 高田善治

地区会則委員長 公認ガイディング・ライオン 丸山 昇 行動記録

9月4日 火	4 R 1 Z ガバナー公式訪問三役懇談会	天王寺東映ホテル
9月4日 火	” ” 合同例会	天王寺東映ホテル
9月14日 金	4 R 2 Z ガバナー公式訪問 合同例会	住吉大社 迎賓館
9月20日 木	後藤・重松国際理事就任祝賀会	帝国ホテル大阪
9月22日 土	2 R 新会員スクール 講師の打ち合せ	ミナミ花月
9月27日 木	大阪住吉LC L 西澤彦二 お通夜	天王寺 大善寺

地区YE委員 高橋 純一 行動記録

9月4日 火	4 R 1 Z ガバナー公式訪問・三役懇談会	天王寺東映ホテル
9月9日 日	第2回地区YE委員会	YMCA高等学校
9月9日 日	冬期派遣ユース希望者選考会	YMCA高等学校
9月14日 金	4 R 2 Z ガバナー公式訪問・9クラブ合同例会	住吉大社吉祥殿

大阪南ライオンズクラブの皆様

Y E 派遣生

田村 翠里

私は7月22日～8月26日までアメリカ合衆国カリフォルニア州に滞在しました。最初の1週間はキャンプに参加しました。そのキャンプには日本人29人の他、イタリア・ドイツ・オーストリア・オランダ・スイス・ノルウェイ・フィンランド・ブラジルなど各国からユースが集まりました。毎日アクティビティやプログラムがあり、夜にはカラオケ・ビンゴや2日間に渡っての国紹介などをしました。プレゼンは大成功に終わり、日本の文化を少しでも紹介することができ、また興味を持ってもらうことができ良かったです。キャンプでは毎日のアクティビティを通してみんなと仲良くなることができ、国籍を問わず多くの友達を作ることができました。彼らと過ごしている間に私がとても刺激を受けたのは、言語能力の高さです。彼らはたいてい母国語と英語以外にもう一つ他の言語を話せましたし、英語も母国語と同じくらいに自然に話せており、そのことに私はとても驚きました。そしてその中の一人は母国語であるイタリア語と英語以外に、3カ国語も話すことができ、私は英語もままならない自分をとても恥ずかしく思いました。間違いを恐れずに積極的に話していくことが外国語上達への一番の近道なのだと気づき、私も彼らを見習っていかねばならないと強く思いました。

キャンプの後、2週間ずつ南カリフォルニアと北カリフォルニアでステイしました。本当に、充実した毎日を過ごしました。ホストファミリーとは他愛もない話から真剣な話まで、いろんな話をしました。北カリフォルニアでのホスト家庭がフィリピン人だったのですが、ある時にはホストマザーのおじいさんが日本兵に戦争のときに殺されたのだという事実も聞きました。私が本当に日本は申し訳ないことをした、と言った時彼女はそれは昔のことで今のあなたには関係がないのだと笑顔で言ってくれました。私は何と心が広いのだろう、とある意味ショックを受けました。私なら自分の家族を殺した人間と同じ人種を憎いと思うだろうし、ましてホストファミリーになってあげようなんてきつと思わないと思います。しかし彼女は私を受け入れてくれました。

私が幼稚園から通っている聖母被昇天学院はカトリックの学校でずっとその精神について教えられて来たのですが、この時に初めて“許しの心”というものが分かった気がしました。また、本当に Assumption の生徒で良かったと思えました。フィリピンにも Assumption があり、どの家庭に行っても自己紹介のときに Assumption の生徒だと言うと分かってもら

えたのです。アメリカに来て、改めて自分の学校に対して誇りや愛校心を持つことができ、また“許し”の心に触れることができ良かったと思います。

私は計り知れないくらいたくさんの方のことを、この夏に学び・感じ・考えました。本当にこのような機会を与えて頂いた、ライオンズクラブの皆様には心より感謝しております。

このYE派遣を通して学んだことを糧として、より視野を広げ様々なことに目を向けられるようになっていきたいと思います。



もう一度読みたい小説

昭和9年、戦前のころ「青空に微笑む」の小説、久米正雄著作、少年倶楽部・図書小説に掲載されたのを愛読していた。ずいぶん前の小説で今さら手に入らない。

三宅島の少年（雪雄）が母親に言われ草刈に出かけたが、他人にいじめ乱暴されて草が取れなくて母に叱られたが一言もいわなかった。

その後、先生に勧められ東京の実業家（陰山家）の書生になり、出世する物語である。

東京へ向かう船中でモノ珍しさから一等船室を覗いたため、そこに泊まっていた令嬢と目を合わせお詫びした。そのあと同行していた兄貴に雪雄を時計泥棒と間違われ、持物を調べられたとき、母が作ってくれた焼きおにぎりが床にころがり落ち激怒する。

その船が途中故障で漂流し食べ物が無くなったとき、泥棒呼ばわりした兄貴が「金なら幾らでも出すからおにぎりを売ってくれ」と懇願するが、少年はガンとして断りそのかわりお粥にして乗客みんなに配るあたり自分の読者は子供心ながら感激したものである。

東京へ着いた途端スリに紹介状も財布も盗られ、助けてくれた男にサーカスに入れられ曲芸や手品の訓練をされた。その後、機会を得て紹介先の陰山邸を訪ねたところ、紹介状が無いために豪邸に入れてくれない。たまたまそこへ帰ってきた令嬢に会えてその家の書生になれた。

ここから先は自分の記憶はあまり無いのだが、主人公の雪雄は行く先々で陰山豪邸に関わる事件が起こり頑張り続ける。妹が「犬か猫かどっちを飼うの？」と聞くと「両方とも飼いましょう」と言っていた。

脅迫犯人が令嬢の妹を誘拐して閉じ込めた木箱をみせて脅したが、雪雄が手品を使って木箱を開けると別の違う女の子が「もういいの？」と言って箱から出てくる。そこで雪雄は模型のピストルを使って犯人を追い出した。

その後、気球会社の社長である陰山氏が、会社主催の気球祭りで新式落下傘のパラシューターが急病でやむを得ず雪雄に頼んだ。雪雄は曲芸をを使って急降下し、低空までパラシュートで降下した。これを見ていた大勢の観客は大感激した。その中に三宅島からつれて来られた母親に再開され喜んだ。上空では旋回している飛行機が煙幕を「ゆきお」と拡げていた。

と言った小説だった。ぜひもう一度読みたい。

PR・情報・IT 副委員長
進藤 富三郎



会長テーマ 「 拡げよう誠の奉仕 挑もう会員増強の和 」

1 1月例会ご案内

第1例会 (第1194回) 11月7日(水)

天王寺都ホテル 5階 当麻の間 12:15~13:30

オークションを行いますので、是非多数の商品をお願い申し上げます。

第2例会 (第1195回) 11月21日(水)

天王寺都ホテル 5階 当麻の間 12:15~13:30